札幌医科大学医学部

カリキュラム・マップ

（臨床実習）

令和８年３月２６日　医学部教授会了承

札幌医科大学カリキュラムマップ（臨床実習）

凡例		
高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

区分	専門教育科目																													
学年	臨床医学実習																													
臨床実習前の到達度 B	4-6																													
科目名	内科学講座 消化器内科学分野	内科学講座 免疫・リウマチ内科学分野	内科学講座 循環病態内科学分野	内科学講座 呼吸器・アレルギー内科学分野	内科学講座 腫瘍内科学分野	内科学講座 血液内科学分野	外科学講座 消化器外科学分野、乳腺・内分泌外科学分野	外科学講座 心臓血管外科学分野	整形外科学講座	産婦人科学講座	小児科学講座	精神医学講座	総合診療医学講座	病理診断学講座	内科学講座 神経内科学分野	眼科学講座	皮膚科学講座	泌尿器科学講座	感染制御・臨床検査医学講座	救急医学講座	集中治療医学講座	脳神経外科学講座	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	放射線医学講座 放射線治療学分野	放射線医学講座 放射線診断学分野	麻酔科学講座	外科学講座 呼吸器外科学分野	口腔外科学講座	形成外科学講座	リハビリテーション医学講座	法医学講座
単位																72														
I. プロフェッショナリズム																														
高い倫理観と使命感を持って患者中心の医療を提供し、生涯にわたる学修意欲をもって医学・医療に貢献できる。																														
1. 医療倫理と生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	C	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A
2. 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	C	B	A	A	A	A	D	A	A	A	A	A	B	A
3. 生と死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	A	C	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	C	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A
4. 人の命と健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	C	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A
5. 医師の法的責任と各種規範について説明できる。	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	B	A	A	A	C	B	A	A	A	A	D	A	A	A	A	A	B	A
6. 人間の尊厳と患者の立場を尊重した、思いやりのある態度を身に着けている。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	C	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A
II. 医学知識																														
医学・医療およびそれらの基礎となる科学的知識を十分に理解し、修得した知識を統合した形で問題解決に応用し、臨床や研究に有効に活用できる。																														
1. 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有している。	C	B	C	C	C	C	C	C	B	C	C	C	B	C	C	C	B	B	C	C	C	C	D	C	C	C	C	C	B	C
2. 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有している。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	B	A
3. 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	C	B	C	C	C	C	C	C	B	C	C	C	B	C	C	C	B	B	C	C	A	C	A	C	A	C	C	C	B	C
4. 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	B	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A
5. 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	C	B	C	C	C	C	C	C	B	C	C	C	B	C	C	C	C	B	C	C	B	C	D	C	B	B	C	C	B	C
III. 医療の実践																														
全人的医療を提供するため、統合された医学的知識と技能に基づいた診療計画の立案、ならびに診療を実践できる。																														
1. 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	A	E	A	A	A	B	A
2. 病歴や身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	A	E	A	A	A	B	A
3. 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	B	A
4. 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	A	E	B	A	A	B	A
5. 医療安全、感染症対策を実践できる。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	B	A
6. 災害時の医療について説明できる。	A	E	A	A	A	A	A	A	C	A	A	A	B	A	A	A	C	B	A	A	A	A	D	E	E	A	A	D	E	A

卒業時の到達度 A

	S	A	B	C	D	E
I. プロフェッショナリズム						
1. 医療倫理と生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	0	27	3	1	0	0
2. 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	0	26	3	1	1	0
3. 生と死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	0	26	3	2	0	0
4. 人の命と健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	0	27	3	1	0	0
5. 医師の法的責任と各種規範について説明できる。	0	25	4	1	1	0
6. 人間の尊厳と患者の立場を尊重した、思いやりのある態度を身に着けている。	0	27	3	1	0	0
II. 医学知識						
1. 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有している。	0	1	6	23	1	0
2. 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有している。	0	26	5	0	0	0
3. 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	0	4	6	21	0	0
4. 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	0	26	5	0	0	0
5. 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	0	0	9	21	1	0
III. 医療の実践						
1. 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	0	27	3	0	0	1
2. 病歴や身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	0	27	3	0	0	1
3. 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	0	27	4	0	0	0
4. 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	0	26	4	0	0	1
5. 医療安全、感染症対策を実践できる。	0	25	6	0	0	0
6. 災害時の医療について説明できる。	0	21	2	2	2	4

札幌医科大学カリキュラムマップ（臨床実習）

凡例		
高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

臨床実習前の到達度 B

卒業時の到達度 A

区分	専門教育科目																													
学年	臨床医学実習																													
	4-6																													
科目名	内科学講座 消化器内科学分野	内科学講座 免疫・リウマチ内科学分野	内科学講座 循環病態内科学分野	内科学講座 呼吸器・アレルギー内科学分野	内科学講座 腫瘍内科学分野	内科学講座 血液内科学分野	外科学講座 消化器外科学分野、乳腺・内分泌外科学分野	外科学講座 心臓血管外科学分野	整形外科学講座	産婦人科学講座	小児科学講座	精神医学講座	総合診療医学講座	病理診断学講座	内科学講座 神経内科学分野	眼科学講座	皮膚科学講座	泌尿器科学講座	感染制御・臨床検査医学講座	救急医学講座	集中治療医学講座	脳神経外科学講座	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	放射線医学講座 放射線治療学分野	放射線医学講座 放射線診断学分野	麻酔科学講座	外科学講座 呼吸器外科学分野	口腔外科学講座	形成外科学講座	リハビリテーション医学講座	法医学講座	S	A	B	C	D	E
単位	72																													
IV. 問題対応能力																														
新たな展開に向けて健全な批判力をもって現状に潜む課題を明確化し、科学的根拠と適確な方法に基づいて問題を解決できる。																														
1. 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	D	B	B	0	1	28	1	1	0
2. 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	A	B	B	B	D	B	B	0	2	28	0	1	0
3. 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	D	B	B	0	1	29	0	1	0
4. 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	D	B	B	0	1	29	0	1	0
5. 問題解決と課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	D	B	B	B	B	B	D	B	B	0	1	28	0	2	0
V. コミュニケーション																														
人々の多様な価値観や社会的背景を理解し、信頼関係の構築に努め、常に他者に敬意を払って接することができる。																														
1. 礼儀と礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	0	27	4	0	0	0
2. 信頼関係を意識し、患者やその家族と対話を重ねることができる。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	A	E	A	A	A	B	A	A	0	27	3	0	0	1
3. 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	A	E	A	A	A	B	A	A	0	27	3	0	0	1
4. 指導力と協調性をもって診療や保健指導を実践できる。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	C	B	A	A	A	A	D	A	E	A	A	A	B	A	A	0	26	2	1	1	1
5. 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	A	E	A	A	A	B	A	A	0	27	3	0	0	1
VI. 科学的探求																														
研究遂行のための基礎的素養と探究心、および研究倫理をもって医学研究に参画し、医学の発展に寄与することができる。																														
1. 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	B	A	A	A	C	B	A	A	B	A	D	A	A	B	A	B	D	A	A	0	22	6	1	2	0
2. 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	D	B	B	B	B	B	D	B	A	0	1	27	1	2	0
3. 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	D	B	A	0	2	28	0	1	0
4. 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	D	B	B	B	B	B	D	B	B	0	0	28	1	2	0
5. 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	C	B	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	D	A	B	0	24	5	1	1	0

札幌医科大学カリキュラムマップ（臨床実習）

凡例		
高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、チューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

臨床実習前の到達度 B

卒業時の到達度 A

区分	専門教育科目																													
学年	臨床医学実習																													
	4-6																													
科目名	内科学講座 消化器内科学分野	内科学講座 免疫・リウマチ内科学分野	内科学講座 循環病態内科学分野	内科学講座 呼吸器・アレルギー内科学分野	内科学講座 腫瘍内科学分野	内科学講座 血液内科学分野	外科学講座 消化器外科学分野、乳腺・内分泌外科学分野	外科学講座 心臓血管外科学分野	整形外科学講座	産婦人科学講座	小児科学講座	精神医学講座	総合診療医学講座	病理診断学講座	内科学講座 神経内科学分野	眼科学講座	皮膚科学講座	泌尿器科学講座	感染制御・臨床検査医学講座	救急医学講座	集中治療医学講座	脳神経外科学講座	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	放射線医学講座 放射線治療学分野	放射線医学講座 放射線診断学分野	麻酔科学講座	外科学講座 呼吸器外科学分野	口腔外科学講座	形成外科学講座	リハビリテーション医学講座	法医学講座		S	A	B	C	D	E
単位	72																													
VII. 地域医療																														
幅広い視野をもって地域医療の役割と課題を説明できる。地域医療に意欲的に取り組む姿勢とともに、実践に必要な基礎的知識と技能を身につけている。																														
1. 地域社会の健康の向上および増進に貢献できる。	D	E	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	B	D	D	D	D	B	D	D	B	D	D	E	E	B	D	D	D	D	D	0	0	4	0	24	3
2. 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	D	E	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	B	D	D	D	D	B	D	D	D	D	D	E	E	B	D	D	D	D	D	0	0	3	0	25	3
3. プライマリ・ケアを実践できる。	D	E	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	A	D	D	D	D	B	D	D	B	D	D	E	E	B	D	D	D	D	D	0	1	3	0	24	3
4. 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	D	E	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	A	D	D	D	D	B	D	D	D	D	D	D	E	B	D	D	D	D	D	0	1	2	0	26	2
5. 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	D	E	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	B	D	D	D	D	B	D	D	D	D	D	E	E	B	D	D	E	D	D	0	0	3	0	24	4
VIII. 国際貢献																														
疾病の臨床や研究の世界的動向を把握し、国際社会の一員として活動するための基礎を身につけている。																														
1. 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	D	E	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	E	D	D	D	D	B	D	D	C	D	D	E	E	B	D	D	E	D	D	0	0	2	1	23	5
2. 健康増進や疾病予防活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	D	E	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	E	D	D	D	D	B	D	D	C	D	D	E	E	B	D	D	E	D	D	0	0	2	1	23	5
3. 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	D	E	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	E	D	D	D	D	B	D	D	C	D	D	E	E	B	D	E	E	D	D	0	0	2	1	22	6
4. 疫学、疾病予防、福祉、医療経済などの社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	D	E	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	E	D	D	D	D	B	D	D	C	D	D	E	E	B	D	E	E	D	D	0	0	2	1	22	6
5. 国際社会における医学的諸問題を説明できる。	D	E	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	E	D	D	D	D	B	D	D	C	D	D	E	E	B	D	E	E	D	D	0	0	2	1	22	6

S	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A	21	19	21	21	21	21	21	21	19	21	18	21	11	21	21	21	0	0	21	21	20	21	22	20	13	17	21	19	0	21	24
B	8	11	8	8	8	8	8	8	12	8	11	8	26	8	8	8	18	42	8	8	13	8	0	8	10	23	8	9	21	8	8
C	3	1	3	3	3	3	3	3	1	3	3	3	0	3	3	3	14	0	3	3	6	3	0	3	1	2	3	3	0	3	0
D	10	0	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	0	10	10	10	10	0	10	10	3	10	20	1	0	0	10	8	14	10	10
E	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	18	0	0	3	7	0	0